

～本年もよろしくお願ひいたします～

日頃より当センターの活動に対し、皆様のご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も戸田市民、児童生徒の皆様のための自然学習センターとして活動して参りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、平成25年最初の講座として1月6日(日)に自然観察会「春の七草がゆ」を開催いたしました。冬休み最後の日曜日とあって、当日は、家族全員で参加される方もたくさんいらっしゃいました。講座では、七草についての説明を講師の先生から聞いた後、ミニ彩湖やパーベキュー広場周辺に出かけ、セリやナズナ、ハコベラを観察しました。残念ながら、今、彩湖周辺で自生しているものは、この3種類くらいしかありません。観察後は、センターにもどって職員による七草のまじない歌を聞き、七草がゆを味わいました。「七草ナズナ 唐土の鳥が 日本の土地へ

渡らぬ先に 七草ナズナ ストクストク」江戸時代、庶民の間では、1年間の無病息災を願うまじない歌を唱えて、たたいた七草をおかゆの中に入れて食べたそうです。七草のような伝統や自然を感じる行事を次世代へ伝えることは、大切なことですね。(T)

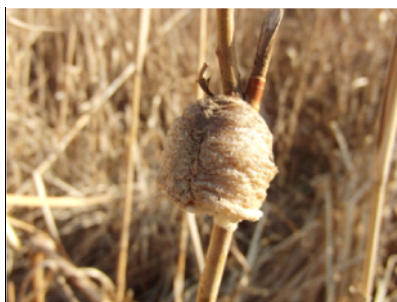


季節の生き物

カマキリの卵

毎日寒いですね。センターの周りも木々の葉が落ち、すっかり冬景色です。見通しのよいこんな時期、ドウダンツツジやアシなどを見ると、茶色い泡状のものがあちこちについています。そう、カマキリの卵です。この泡を固めたようなものは卵囊(らんのお)といい、この中に100～300もの卵が入っています。卵は卵囊に守られて冬を越し、5～6月にふ化します。生まれたカマキリの赤ちゃんはアブラムシなどの小さな虫を食べて育ちますが、多くは鳥やクモなどに食べられ、成虫になれるのはわずかです。厳しいですね。

センターの周りではオオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ、コカマキリの卵囊が観察できます。ぜひ探しに来てくださいね。(A)



オオカマキリの卵囊



講座案内(1・2月)



1月20日(日) 野鳥観察会 雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・厳冬」

冬の野鳥観察シリーズ第3弾 厳冬編です。暖かい時期の賑わいと違って変わって人はまばらですが、野鳥観察にはもってこいの季節です。猛禽類やカモ、カイツブリの仲間などを観察しに来ませんか?

対象：一般・親子など 小学3年生以下は保護者同伴

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：双眼鏡など観察道具(貸し出し可)

防寒着(帽子・手袋・マフラー・風を通さない上着など)

参加費：100円(保険代)



2月17日(日) 野鳥観察会 雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・晩冬」

今年度最後の野鳥観察会です。北へ戻る準備を始めた冬鳥たちを観察する、今年最後のチャンスでもあります。水鳥ではオスの求愛行動が観察できるかもしれません。どなたでもお申し込みいただける観察会です。たくさんのご参加お待ちしております。

対象：一般・親子など 小学3年生以下は保護者同伴

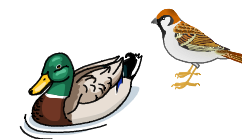
定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：双眼鏡など観察道具(貸し出し可)

防寒着(帽子・手袋・マフラー・風を通さない上着など)

参加費：100円(保険代)



2月23日(土) 親子ふれあい教室 雨天実施

「竹を使ったものづくり」

道満でとれた竹で竹細工に挑戦しましょう! 道具の使い方を練習しながら、思い思いの作品をつくりまします。コップ、貯金箱、おもちゃなど、1本の竹からいろいろな作品が作れますよ。

対象：小学生以上の親子

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：軍手、作品を持ち帰る袋

参加費：100円(保険代)



申込方法：彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(申し込みは、代理の方でも結構です。)各講座は、定員になり次第、受付を終了させていただきます。なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。 :048-422-9991

詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。